

氷室小学校 保護者説明会

# 学びの「主役」になる 自己調整する力

～自分で考え、修正し、未来を拓く～

# なぜ今、「自己調整」なのか



## 時代の要請

AIが即座に答えを出す時代。大切なのは「正解を覚えること」ではなく、「自分で考え、修正する力」です。



## 不可欠な力

変化の激しい社会では、状況に合わせて自分の学びをアップデートできる自律性が求められています。



## 本校の目標

単に知識を教わる受動的な姿から、自ら学びを「コントロール」できる児童を育てます。

# 実力はある。でも、自信が？

日本の子どもは国際的に見て高い基礎学力を持っていますが、「自律的に学ぶ自信」には課題があります。

数学的リテラシー(点数)

世界トップレベル

自律学習への自信

OECD平均以下

課題：高いポテンシャルを「自らの意志で使いこなす感覚」を育てる必要があります。

---

# 自己調整を支える 「3つのエンジン」

～子どもの姿から見る、調整のメカニズム～

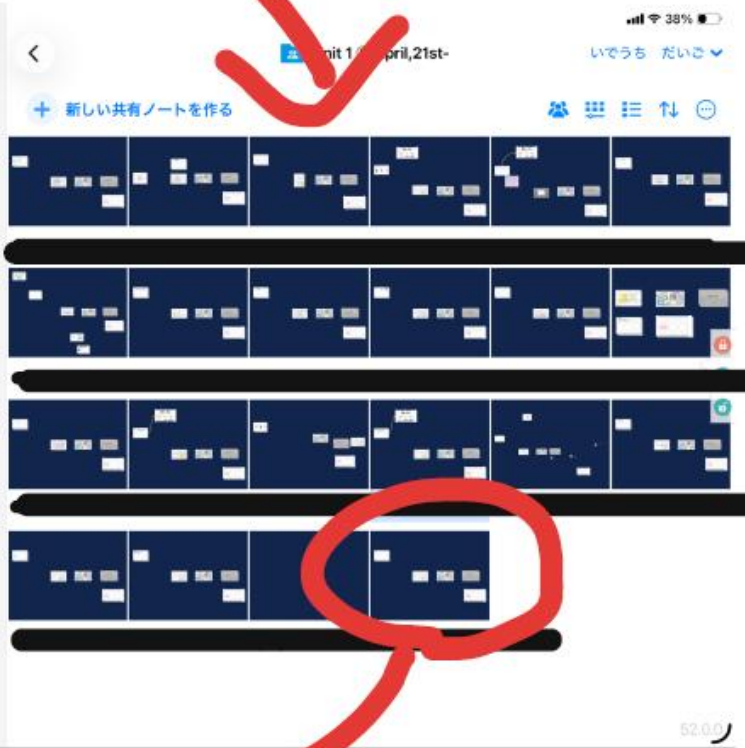
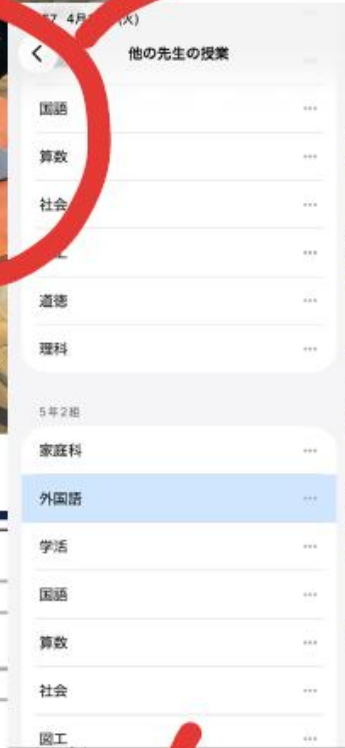
# ① 途中参照・他者参照

学びをアップデートする力

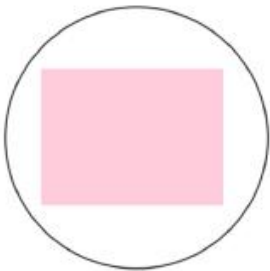
1人で煮詰まった時、友達のノートやヒントを見に行きます。「あ、その手があったか！」と自分のやり方に取り入れることが\*\*「調整」\*\*の第一歩です。

💬 「1人でやってみたけど、ここで行き詰まったから友達に聞いてみよう！」





自己アピール名刺



pink



orengi



badominton

## ② 対話・交流



考えを深め、広げる力

友達と語り合うことで「自分とは違う視点」に気づきます。対話を通じて、当初の計画をより高いレベルへ引き上げます。

💬 「みんなで話すと、もっといいアイデアが出てきた！」

### ③ 振り返り

自分を見つめ、次へつなげる

単なる「感想」ではなく、\*\*「次はこれを試そう」\*\*という具体的なアクションを言語化します。今日の学びを明日の行動へ橋渡しするプロセスです。

💬 「今日はここで行き詰まったから、明日は友達が言っていたやり方を試してみよう！」



## 視点①：新しく分かったこと・考えが変わったこと

### 💡 ひらめきのタネ



「今日の学習で【……】が  
できるようになりました。」  
「最初は【……】だと思ったけど、  
【……】に変わりました。」

自分の中の「おっ！」という気づきを言葉にしてみよう！

## 視点②：友達と協力して学んだこと・友達のよさ

### 👏 仲間のパワー



「今日の学習は〇〇さんの【……】という考えが  
参考になり、□□ということがわかりました。」

「〇〇さんの【……】という考えで、□□  
ということが分かるようになりました。」

友達の素敵なアイデアや、  
助けてもらったことを記録しよう！

## 視点③：工夫して考え、取り組んだこと (話し合い、ノート、考え方)

### ⚙️ 思考のギア



マジックフレーズ：  
✓「【比べて・色々な視点から  
・関連させて】考えて……」  
✓「【図・式・数直線・グラフ]  
をかくことで……」  
✓クロームブックを使って  
【……】をすることで……」

自分がどんな作戦を  
使って考えたのか、  
その道のりを残そう！

## 視点④：さらに考えたいこと・次への目標

### 🚀 未来へのステップ



「今日の【……】を  
【……】の時に  
使っていきたいです。」

「今、〇〇が疑問なので、  
【……】を調べて  
みたいです。」

「今日は【……】が  
できなかったで、次は  
【……】をがんばります。」

学びは今日で  
終わりじゃない！  
次のワクワクを  
見つけよう！

# ゴールは「自分に生かす」こと

# 100%

学びの主演

## 自己肯定感を育む

3つのプロセスを経て、最終的に「自分に生かす」段階へと繋がります。「自分で選んで、自分で決めた」という感覚が、子どもたちの確かな自信となります。

- ✔ 納得感：自分の学びの「意味」を理解している
- ✔ 自律性：自ら次の一歩を決め、踏み出せる
- ✔ 柔軟性：失敗を「次へのデータ」として捉えられる

## 失敗は、絶好のチャンス

“

「自己調整」とは、うまくいかない時にこそ発揮される力です。

失敗しても「どう調整するか」を学べる、  
心理的安全性の高い場所を創ります

— 氷室小学校の教室のあり方

## 大人の関わり：魔法の3フレーズ



### 「どうしたの？」

現状を言語化するきっかけを作ります。批判ではなく「観察」から始めます。



### 「どうしたいの？」

解決策を自分で考えるスイッチを入れます。本人の意思を確認する言葉です。



### 「手伝えることは？」

指示ではなく、対等なパートナーとして「サポートの必要性」を尋ねます。



# 子どもと共に創る学校

保護者の方々とも「横並び」で歩んでいきたい。  
私たちは、子どもたちの自律への挑戦を全力で応援します。